取扱説明書

バーディーテイラー用作業機
“ヘーメーカー”

HM121B

1754-000000

●取扱説明書本文中に出てくる重要危険部分は、製品を使用する前に注意深くお読みいただき、十分理解してください。
●本製品ご購入の際には、販売店より安全のための使用方法についての説明をお受けください。
●取扱説明書はいつでもごらんになれるよう、品質保証書とともに大切に保管してください。
●安全性維持のため、別紙点検表に従い年次点検をお受けください。（有料）
●各種サービスをお受けになる際には必ずメーカー純正部品とご指定ください。

株式会社　オーレック

《販売店様へ》
本製品納品の際には納品前点検を行い、お客様から商品受領書をお受け取り後、①メーカー控えを専用封筒にてご返送願います。

目　　次

項　目　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　頁

《はじめに》

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書は本製品を常に最良の状態に保ち、安全な作業をしていただくために、正しい取扱方法と簡単なお手入れ方法について説明してあります。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書を良くお読みいただき、安全な運転作業と正しい取扱方法を十分理解し、安全で能率的な作業にお役立て下さい。

●装着する本機側（BX80 及び BX80A）の取扱説明書も後熟読下さい。●

⚠警告 又、お読みになった後はいつでも取り出してご覧になれるよう大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようご活用下さい。

《重要なお知らせ》

a)性能・耐久性向上及びその他諸事情による部品等の変更で、お手元の製品の仕様と本書の内容が一部一致しない場合があります。

b)本書の内容の一部又は全部を無断で複写複製(コピー)する事は、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となりますので予めご注意下さい。

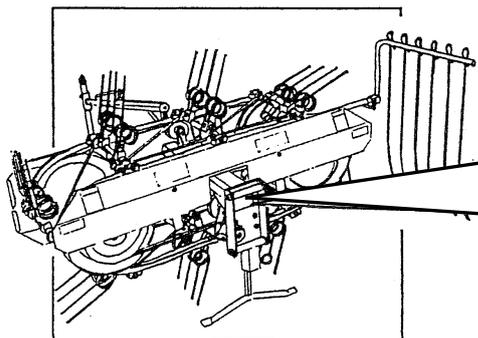
c)本書では説明部位が具体的に理解できるよう、写真、イラストを用いています。説明部位以外は省略されて表示されている場合があります。

d)本書は日本語を母国語としない方のご使用は対象としていません。

《本製品の規制について》

本製品は農業用機械として開発しておりますので、これ以外の用途(レンタル等、作業者が特定されないような使われ方)では使用しないで下さい。この場合には保証の対象外となる場合があります。

《保証・契約書・免責事項》

- 本書とは別に本製品には品質保証書が添付されています。必ず品質保証書裏面の保証規約を良く読んで理解しておいて下さい。
- 本製品の保証期間は、新品購入から１ケ年、又は５０使用時間(請負業務用については６ケ月間、もしくは５０使用時間)の内どちらか早い時点で到達した方となっています。
- 全ての注意事項を予測する事は不可能です。製品を使用する際には作業者側も安全への配慮が必要です。
- 本書を読んでも判らない場合には勝手な操作はせず、必ず製品お買い上げの販売店(以降販売店)までご相談下さい。
- 製品を安全に効率よくご使用し続けて頂くためには定期的な点検・整備が不可欠です。「定期自主点検表」及び「年次点検表」に記載のある定期的な点検・整備を必ず最低**毎年１回**は販売店まで依頼しましょう(有料)。これらの点検・整備を行わなかった事及び仕様を越えた使用・改造等本書に従わなかった事に起因する故障・事故に関しては保証の対象外となります。
- ご不審な点及びサービス等に関するご質問は、販売店までご相談下さい。その際、**『商品型式と製造番号・搭載エンジンの型式名(エンジン本体に刻印又は貼付されています。)』**を併せてご連絡下さい。

◎この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、**製造打ち切り後９年**と致します。但し、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

《定義とシンボルマークについて》

本書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次のような定義とシンボルマークが使用されています。以下のシンボルマークがもつ意味を十分に理解し、その内容に従って下さい。

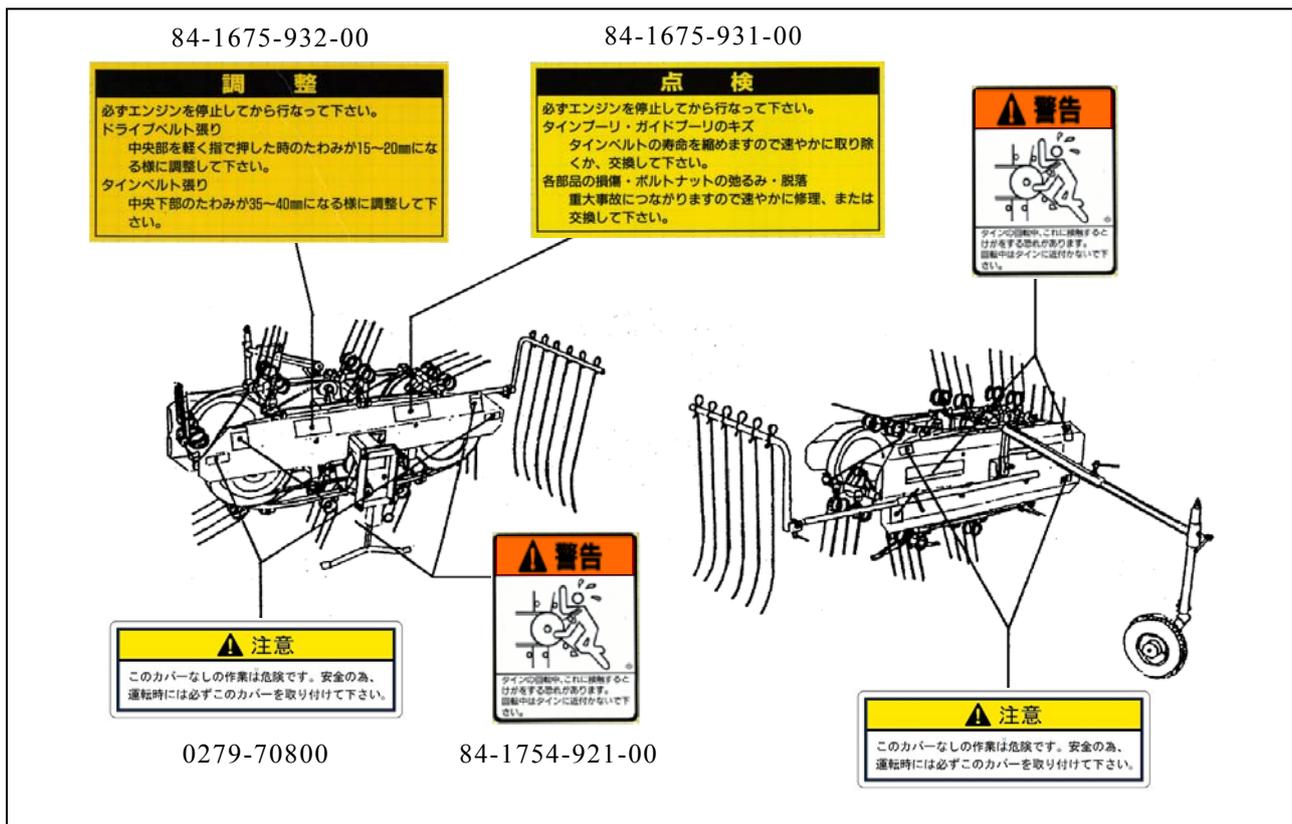
シンボルマーク	定　　義
⚠ 危　険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警　告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注　意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。また、遵守又は矯正しないと、製品自体に損傷を与えるものも示します。
参　考：	操作、保守において知っておくと得な製品の性能、誤りやすいミスに関する事項を示します。

《安全に作業をするために》…重要危険項目…

（１） 警告表示マーク

・以下の危険表示マークは本項目内における重要危険事項の中からとくに重要なものとして厳選されており、本体に貼付されています。ご使用の前に必ずお読みいただき、十分理解して必ず守って下さい。

●…危険表示マークが見えにくくなった場合には、貼り変えるなどして常にはっきり識別できるようにしておいて下さい。 〈Ｐ１２…消耗品明細参照〉

●…本機はガソリンを燃料としており、作業中はもちろん機械のそばでのくわえたばこや焚き火等の裸火照明は引火の危険がありますので絶対にしないで下さい。

（２） 作業前の注意

・本機の運転に際しては、使用上の注意事項を十分理解し、安全運転を徹底して下さい。

・所有者以外の人は使用しないで下さい。

・過労、病気、薬物の影響、その他の影響により正常な運転操作が出来ない時には作業を控えて下さい。又、酒気を帯びた人、妊婦、若年者、未熟練者も作業をしないで下さい。

⚠警告 機械の回転部に巻き込まれたりしないよう、作業衣は長袖の上着に裾を絞った長ズボンを着用し、滑り止め(スパイク)のついた安全靴や帽子又は、ヘルメット、防護眼鏡、スネ当て等を必ず使用して下さい。

⚠注意 作業を開始するときには、周囲に人や動物、車両等が無いことを確認し、作業中は半径１０ｍ以内にこれらのものを近付けないで下さい。

⚠警告 安全のためのカバー類はもとより、標準に装備されている部品を外しての運転は非常に危険です。安全のためこれらのカバー類、部品は必ず装着した状態で使用して下さい。

⚠警告 小石やその他の異物は事前に取り除き、障害物は事前に目印となる物をつけた後で作業を始めて下さい。石等の異物が飛散し危険です。

⚠警告 １０°を超える傾斜地での作業や、トラック搭載用ブリッジの勾配が１５°を超えると危険です。安全作業のため、これらの勾配角度未満でご使用下さい。

⚠警告 暗い時、視界が悪いときの使用は危険です。周囲の状況が十分に把握できない環境では使用しないで下さい。

⚠注意 安全作業の妨げとなるような本機の改造(夜間作業用のライトの装着、カバ―の切断等)は絶対にしないで下さい。これらの改造に起因する事故、及び不具合に関しては一切の責任を負いかねます。

（３） 作業中の注意

・ 安全のため、余裕を持った運転を心掛け、急発進・急停止・急旋回はしないで下さい。

⚠注意 健康のため、１時間以上継続して製品を使用することは避けてください。必ず１時間毎に１０分程度の休息を取るようにして下さい。

・ バックする時は、子供や動物がいない事を確認して機械と壁との間に挟まれたり、崖からの転落等がない様足場に注意して下さい。

・ ベルトスリップによる異常な音・匂い・発熱は火災の原因です。その様な時は、すぐにエンジンを停止して点検・修理して下さい。

・ 回転部は危険です。特にタイン回転中は危険ですので身体を近付けないよう十分注意して下さい。

・ 草の量が多い場合には、浅く数回に分けて作業を行って下さい。一度で行おうとすると、タインによる草の持ち回りが発生し、うまく作業できません。

（４） 点検・整備時の注意

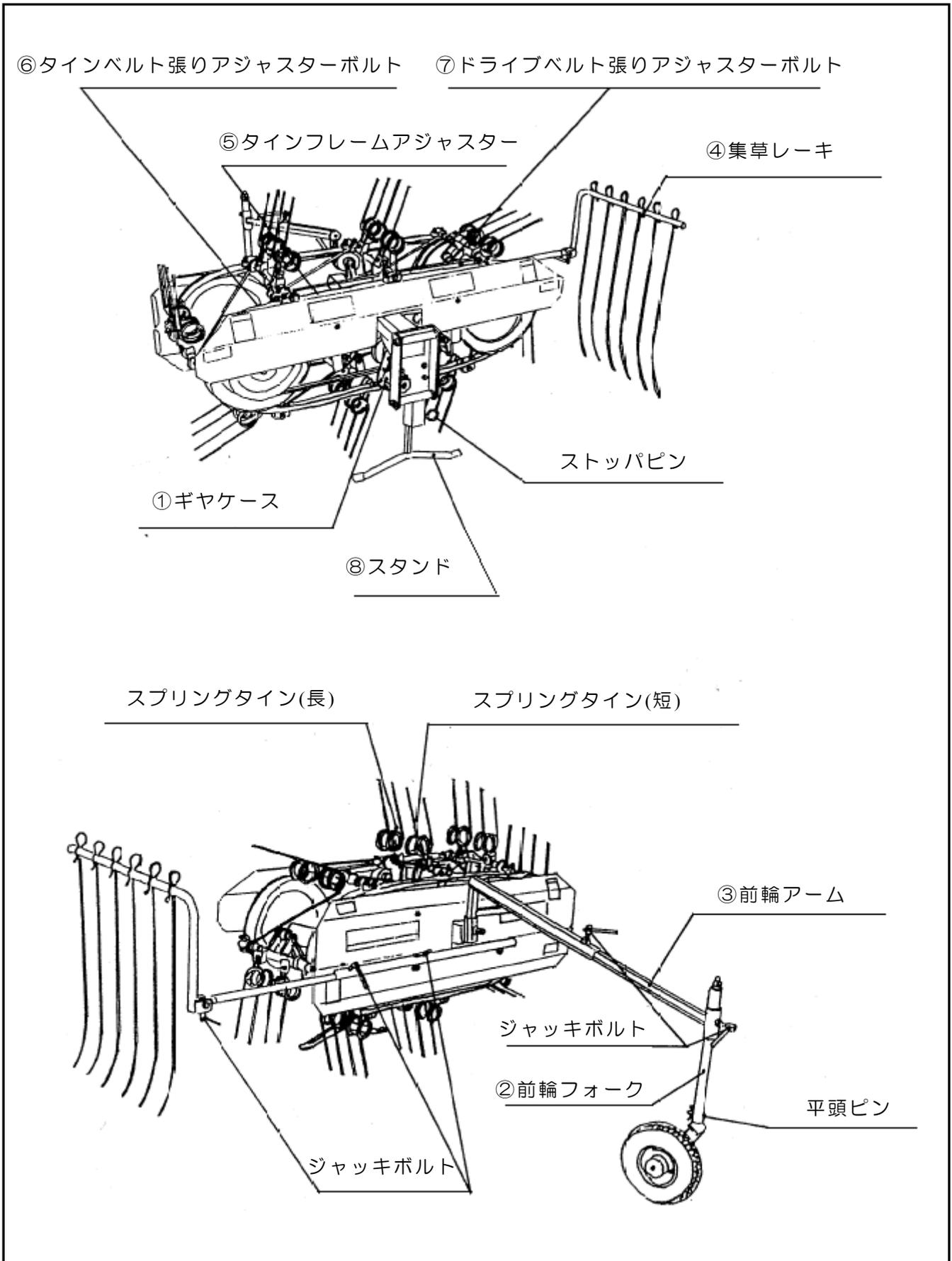
⚠注意 品質及び性能維持のためには定期点検が不可欠です。始業・月次点検は所有者ご自身で、年次点検は販売店(有料)へご依頼下さい。定期点検を怠ったことによる事故・故障については責任を負いかねますのでご注意下さい。

⚠警告 ベルトやＤプーリー部の安全カバーの破損は危険です。作業中に異常を感じた箇所はそのままにせず、必ず作業を中断して点検、また作業終了後に再度点検し、必要な修理をしておいて下さい。

・ 取り外した回転部のカバー類は、必ず元の位置に正しく取付けて下さい。

・ フラッパー等のゴム製品は時間の経過とともに硬化し、少しの衝撃でも割れたり破れたりして危険です。３年毎、又傷んだときには新品と交換して下さい。

《各部の名称》

⑥タインベルト張りアジャスターボルト
⑦ドライブベルト張りアジャスターボルト
⑤タインフレームアジャスター
④集草レーキ
ストッパピン
①ギヤケース
⑧スタンド
スプリングタイン(長)
スプリングタイン(短)
③前輪アーム
ジャッキボルト
②前輪フォーク
平頭ピン
ジャッキボルト

《各部のはたらき》

①ギヤケース

ご使用前には必ずオイル栓を外し、注油口よりミッションオイル(#９０)を０．０５ℓ オイル差しにて注油して下さい。

□前輪フォーク

ジャッキボルトでこれを上下させることにより、作業高さの調整を行います。前輪は平頭ピンの抜き差しにより、“固定”　“自在”に切り替えが可能です。
藁や牧草の量が多い場合には浅く数回に分けて作業を行うようにして下さい。

③前輪アーム

・作業状況に合わせて前輪アームは中央と左右方向にそれぞれ６０°間隔で３方向に固定することが出来ます。
・前輪アームは伸縮式になっていますので、トラック等での移動時には全長を短くする事が出来ます。前輪アームを左右に振ればさらに全長は短くなります。

参考；

作業時には前輪アームは一杯に伸ばした状態で行って下さい。
縮めたままで作業を行うと、前輪フォークに藁や牧草が絡み付き、うまく作業が出来ません。

⚠注意

何れの場合にも作業中緩む事の無いよう、ジャッキボルトはしっかりと締め付けておいて下さい。

④集草レーキ

集草作業をする場合、草の丈が比較的低い場合にのみ、草が遠くに飛ばされない様にこのレーキに当てて下に落としていきます。長い草の場合には“付き回り”の原因にもなりますので取り外しておいて下さい。
調整はレーキに取り付けられた集草フォークが地面と垂直になるように、またスプリングタインとの距離を 70～80cm 程度になるように３箇所のジャッキボルトで調整し、調整後はしっかりとジャッキボルトを締め付けておいて下さい。拡散・反転作業時には、取り外しておいて下さい。

⑤タインフレームアジャスター

作業に応じてタインフレームの対地角度を作業方向に最大で１５°まで傾けることができます。

⑥タインベルト張りアジャスターボルト

このボルトでタインの張りを調整します。
調整後はロックナットをしっかりと締め付けておいて下さい。

⑦ドライブベルト張りアジャスターボルト

このボルトでドライブベルトの張りを調整します。調整を行う前にはタインフレーム根元の固定ボルトを緩めて下さい。
調整後は何れもロックナットをしっかりと締め付けておいて下さい。

⑧スタンド

作業機脱着の際、あるいは作業機を単独で保管する場合に使用します。

ストッパピンを引いてスタンドを伸ばし、ストッパピンを離せばロックします。

⚠注意

・スタンドを引き出し過ぎるとスタンドがスタンドブラケットから抜け落ちますので注意して下さい。

・作業時には必ずスタンドは上に引き上げておいて下さい。伸ばしたままで作業を行うと、スタンドに藁や牧草が絡み付き、作業の妨げになるばかりでなく故障の原因となります。

《機械を他人に貸すときは…》

所有者以外の人には作業させないのが原則ですが、やむを得ず機械を他人に貸すときには、取扱方法を説明し、「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱方法や安全のポイントを十分理解してから作業をするように指導して下さい。

機械と一緒に「取扱説明書」を貸してあげて下さい。

親切心から機械を他人に貸して、借りた人が不慣れな為に思わぬ事故を起こしたりするとせっかくの親切心があだとなってしまいます。

《仕様》

名　称	バーディー　ヘイメーカー
型式名	ＨＭ１２１Ｂ
全長×全幅×全高(mm)	１，４６０ × １，３８０ × ８９０
作業幅(mm)	１，２００
スプリングタイン数	短×８本　　長×８本
作業高さ	前輪フォークの調整により任意で固定
重量(kg)	６８
作業能率(a/h)BX80 装着時	①１０．３　②２１．２　③３８．６　④７９．９(直線時)

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

《《上手な作業のしかた》

作業前の始業点検

安全で快適な作業を行うために**「定期自主点検表」**〈P１２参照〉に従って始業点検をおこない、異常箇所は直に整備をしてから作業を始めて下さい。

⚠警告　本機に貼られている注意、危険マーク及び本機側の取扱説明書も良く読んで下さい。

集草・反転(拡散)作業のしかた

⚠警告

・タインは左から右側へと回転します。(作業位置からみて)圃場の状況によっては牧草や藁と一緒に泥や小石等の異物が跳ね出される恐れがあります。
作業方向に人(特に子供)がいないことを確認したうえで作業を行って下さい。

・タイン部及びベルトカバーに絡み付いた牧草や藁等を除去する場合には必ず本機のエンジンを停止した後に行って下さい。

・作業中タインは剥き出しの状態で回転しています。作業中は絶対にタイン部には近づかないで下さい。

・転落や衝突事故を防ぐため、建物、川、崖や人のいる方向に向かっての作業は行わないで下さい。

・変速の操作は必ず平坦地で行って下さい。本機側の走行クラッチレバーを「切」位置にした後に変速レバーを操作します。
…傾斜地で変速操作を行うと、変速される瞬間に中立「N」の状態となり、滑落等非常に危険です

・機械の回転部に巻き込まれたりしないよう、マフラーやタオル等の巻き込まれやすいものは着用しないで下さい。

・前進「④速」位置は移動専用とし、④速位置での作業は絶対にしないで下さい。
圃場の条件が良くても速度が速く非常に危険です。

参考；

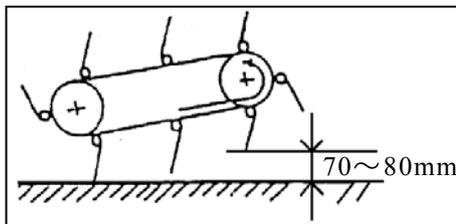
・安全の為、本機のハンドル左右の調整は行わず(中心位置で固定)上下調整のみをして下さい。

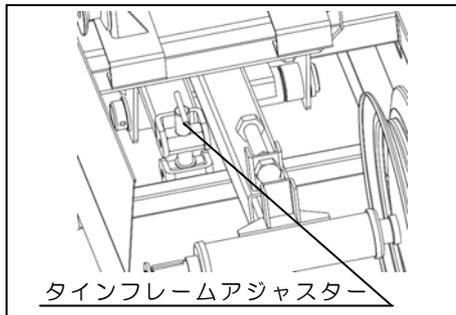
●本機側の“取扱説明書”に従って作業機の脱着を確実に行い、作業前の準備をして下さい。

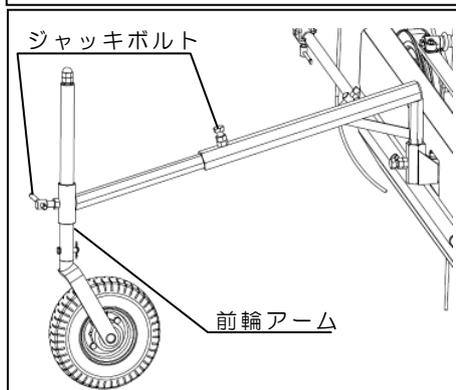
◆前輪アームは一杯に伸ばし、ジャッキボルトで確実に固定して下さい。

◆前輪アームは牧草や藁の量が少ない場合には中心位置で、多い場合には左側に振ってそれぞれ固定した方が作業がやり易くなります。
…草や藁が多くなってくると、前輪アームが中心位置では前輪がこれに乗り上げてうまく作業が出来ません。

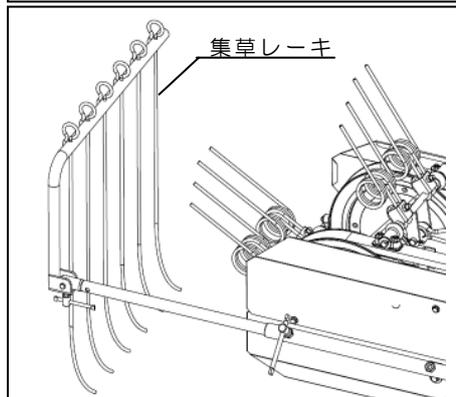
◆作業機脱着後は必ずスタンドを引き上げておいて下さい。

《集草作業のしかた》

①作業位置より見て、右端部でタイン先端と地面との間隔が７０～８０mm 程度になるようにタインフレームアジャスターで調整します。

参考；
作業角度を大きく取ればそれだけ作業幅は狭くなります。

②前輪フォークで作業高さ、前輪アームの方向を調整し、調整後は共にしっかりとジャッキボルトを締め付けておいて下さい。

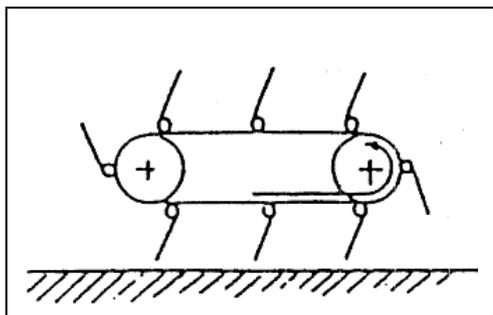
参考；
イタリアン等の牧草を集草する場合には、泥等の混入により飼料として使用ができなくなる事もありますので作業高さの調整には特に注意をして下さい。

③集草レーキをセットします。

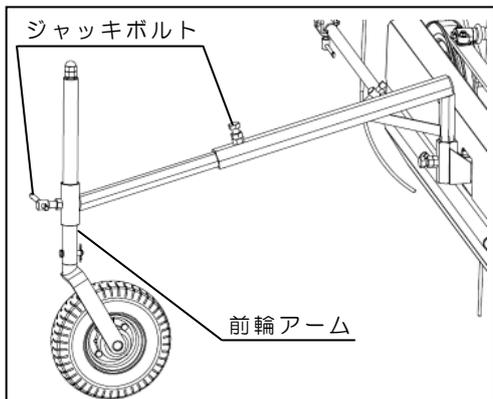
④作業状況に応じて前輪を“自在”もしくは “固定”にして下さい。

参考；
平坦地では“自在”、傾斜地では “固定”にした方が作業がやり易くなります。

●後は本機側の“取扱説明書”に従って作業を「開始」して「終了」しますが、その際以下の点にご注意下さい。

⚠注意

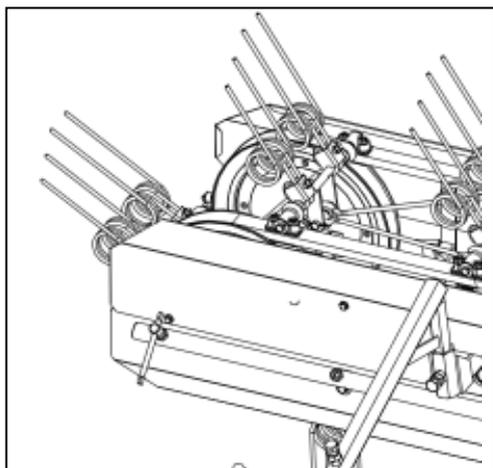
1　作業速度は「③速」で行い、車速はスロットルレバーの調整で行って下さい。
2　スロットルレバーは「🐇」と「🐢」の間で調整し、「🐇」位置にはしないで下さい。
…「🐇」位置で作業を行うとタインの回転も高速となり、搬送された牧草や藁がタインから離れず一緒に回転する“付き廻り”が発生する度合いが多くなります。
3　牧草や藁の量が多く、タインによる“付き廻り”が発生する場合には、作業高さを浅く調整し、数回に分けて作業を行うようにして下さい。
4　作業方法は、最初往復作業をして数本の帯状のまとまりをつくり、その後２本を１本といった具合に順次大きなまとまりにしていきます。
牧草や藁の量が多くなってくると、“付き廻り”の原因にもなりますので集草レーキは取り外しておいて下さい。

《反転(拡散)作業のしかた》

①作業位置より見てタイン先端が地面と平行になるようにタインフレームアジャスターで調整します。

参考；
牧草の乾燥具合によっては若干の作業角度を取った方が作業性がよくなる場合もあります。

ジャッキボルト
前輪アーム

②本機側方より見て前後が水平になるように前輪アームで作業高さを調整し、調整後はしっかりとジャッキボルトを締め付けておいて下さい。

⚠注意

タインで泥を巻き込まないように注意して下さい。

③集草レーキは取り外しておいて下さい。

④作業状況に応じて前輪を“自在”もしくは“固定”にして下さい。

参考；
平坦地では“自在”で傾斜地では“固定”にして法が作業がやり易くなります。

●後は本機側の“取扱説明書”に従って作業を「開始」して「終了」しますが、その際以下の点にご注意下さい。

⚠注意

1　作業速度は「③速」で行い、車速はスロットルレバーの調整で行って下さい。
2　スロットルレバーは「　」と「　」の間で調整し、「　」位置にはしないで下さい。集草作業よりやや高めに調整して下さい。
…「　」位置で作業を行うとタインの回転も高速となり、搬送された牧草や藁がタインから離れず一緒に回転する“付き廻り”が発生する度合いが多くなります。
3　牧草や藁の量が多く、タインによる“付き廻り”が発生する場合には、作業高さを浅く調整し、数回に分けて作業を行うようにして下さい。

⚠警告

・作業中、障害物に当たったときはすぐにエンジンを停止させ、万一の始動を防止する為に点火プラグキャップを点火プラグから外してから損傷を調べて下さい。
異常があればすぐに修理をして下さい。修理をしないで再始動すると思わぬ事故につながります。

・エンジンに草、木の葉等を推積させないで下さい。これら可燃物が推積すると火災の原因になったり、エンジンの焼き付き等本機を損傷する場合があります。
特に本機エンジン側のリコイルスターター・エアクリーナー付近に推積した草屑等はその都度取り除き、常にきれいにしておいて下さい。

《ベルト調整のしかた》

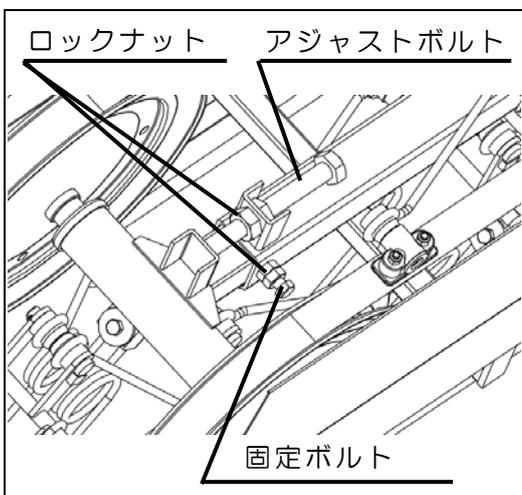
ドライブベルト調整

作業中、負荷がかかるとドライブベルトがスリップする場合、またはドライブベルトの交換時には図１を参考にベルトの張りを調整して下さい。

図１

①タインフレーム付け根にある固定ボルトを緩めて下さい。

②アジャストボルトでベルトの張りを調整します。
ベルト中央部を軽く指で押した時のたわみが１５～２０mm になる様に調整して下さい。

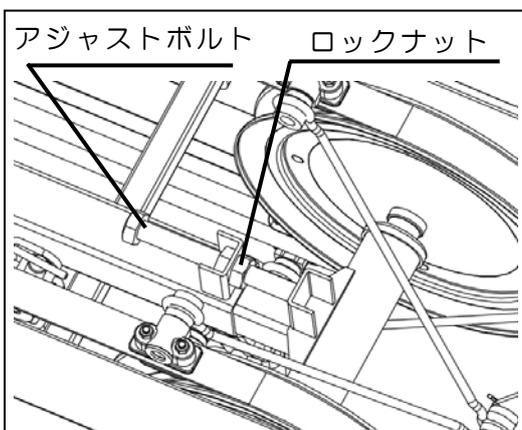
●調整後はいずれもロックナットを確実に締め付けておいて下さい。

ドライブベルトサイズ…ＳＢ５０(89-6113-005000)×１本

タインベルト調整

作業中、負荷がかかるとタインベルトがスリップする場合、または２本のタインベルトの位相がずれている場合には図２を参考にベルトの張りを調整して下さい。

図２

①図２を参考にタインベルト中央下部でのたわみが３５～４０mm になる様にアジャストボルトで調整して下さい。

●調整後はいずれもロックナットを確実に締め付けておいて下さい。

タインベルトサイズ…
ＭＳ－２８２(84-1754-792-00)×２本

⚠注意

２本のタインベルトの位相がずれたまま作業を続けるとタインベルトの寿命を縮めるばかりでなくスタビライザロッドの破損等、本体各部にも悪影響を及ぼしますので２本のタインベルトの位相は常に合わせておいて下さい。

《保管のしかた》

・タインに絡み付いた草屑等は手で取り除いておいて下さい。ベルトカバー内に付着した泥等はこれが乾かない内にホース等、加圧した水で清掃を行うと比較的簡単に洗い落とす事ができます。

…このとき、本機側のエンジンの電装関係や気化器、エアクリーナー、マフラー排気口に水がかからないようにカバーをかける等して注意して下さい。エンジン始動不良の原因になります。

・屋根のある風通しの良い湿気の少ない水平な場所で、本機にセットして保管して下さい。

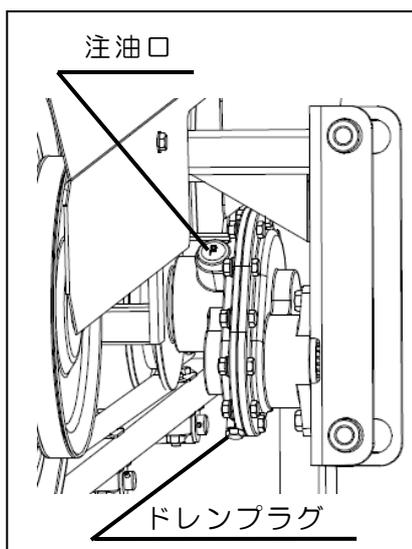
・カバー等をかけてほこりがつかないようにして下さい。

《各部オイルの点検・交換・注油のしかた》

⚠注意

・出荷時、作業時にはオイルは入っておりません。使用前には必ず指定の箇所に指定のオイルを指定の量だけ入れて使用して下さい。

・定期的なオイル交換は、作業機を常に最良の状態で使用するために是非必要です。

・オイルの点検・交換をする場合には、必ず本機に作業機をセットした状態で平坦な広い場所に置き、エンジンを停止し、作業が終わるまでは万一の始動を防止する為に点火プラグキャップは点火プラグより外しておいて下さい。

ギヤケース

◎注油

ギヤケース上部の注油口よりミッションオイル(＃９０)を０．０５ℓ油差しに入れて注油して下さい。

◎点検

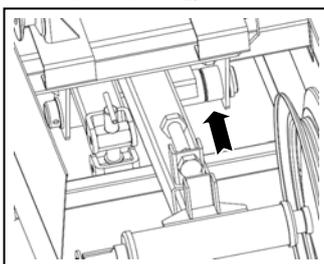
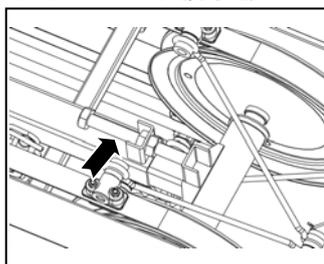
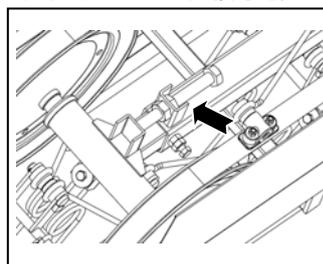
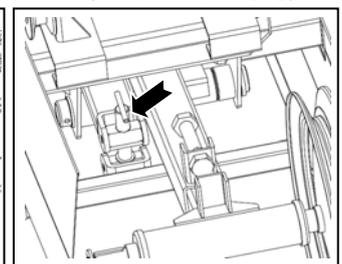
注油口よりミッションオイルが目視で確認できればほぼ規定量入っています。

◎交換

初回は２０時間目、それ以降は１００時間運転毎を目安にギヤケース下部のドレンプラグ(排油口)を外して行って下さい。

可動部への注油

◎約３０時間毎にエンジンオイル(＃３０)又はグリースを作動させながら確実に注油して下さい。注油を怠ると油切れにより動作が重くなり、最悪破損の恐れもあります。

センターピン部

タインベルト張り部

ドライブベルト張り部

アジャスターボルト部

《同梱品明細》

No.	部品名	規格、寸法	個数/台
1	取扱説明書		1
2	品質保証書		1
3	片口スパナ	２６m/m	1

《消耗品明細》

No.	部品名	部品番号	個数/台	備　考
1	ドライブベルト	89-6113-005000	1	ＳＢ－５０
2	タインベルト	84-1754-792-00	2	ＭＳ－２８２
3	スプリングタイン(長)	84-1563-821-00	8	
4	スプリングタイン(短)	84-1563-822-00	8	
5	タイン警告マーク	84-1754-921-00	4	タイン回転中…
6	注意マーク⑰	86-1516-908-00	4	このカバーなしの…
7	調整マーク	84-1675-932-00	1	－調整－
8	点検マーク	84-1675-931-00	1	－点検－

《定期自主点検》

- 点検や整備を怠ると、事故の原因となる事があります。正常な機能を発揮させ、いつも安全な状態であるようにこの「定期自主点検表」を参考に点検を行って下さい。
- 年次点検は一年に一回、月例点検は一ヶ月に一回、始業点検は作業を開始する前に毎回点検を行うようにして下さい。

項目		点検内容		点検実施時期		
				始業	月次	年次
伝達装置等	ギヤボックス	①異音、異常発熱及び作動。	作動に異常はないか、又、異音、異常発熱はないか。		○	○
		②油量、汚れ。	オイルの量は適切か、又、著しい汚れはないか。			○
		③油漏れ。	オイルシール、パッキン部に油漏れはないか。	○	○	○
本体	本体	亀裂、変形及び取付ボルト・ナットの弛み、脱落。	フレームの亀裂、変形、ボルト・ナットの弛み、脱落はないか。		○	○
	カバー	亀裂、変形、腐食。	亀裂、変形、腐食はないか。			○
	表示マーク	損傷。	警告ラベル及び銘板が損傷なく取り付けられているか。		○	○

《自己診断表》

- もし、次のような現象が発生した場合には、取扱説明書を参考にして適切な処置をして下さい。

現　　象	原　　因	処　　置
草が付き廻りする。	草の量が多い。	作業高さを浅く数回に分ける。
		作業角度をつけてみる。
	車速が遅すぎる。	車速は「③速」でスロットルは控えめにする。
	タイン(エンジン)の回転が速すぎる。	エンジン回転を「中速」にする。
	草が乾燥し過ぎている。	水分をある程度含んでいるうちに作業をする。
	集草レーキを付けている。	草の量が多い場合には使用しない。
	集草レーキとタインとの間隔が狭い。	集草レーキとタインの間隔は 70～80cm 程度にする。
	スタンドが出たままになっている。	作業中、スタンドは引き上げておく。
前輪アームに草が引っかかる。	前輪アームが縮んでいる。	前輪アームを一杯に伸ばす。
	前輪が草に乗り上げている。	前輪アームを左右に振る。
集草した牧草に泥の混入が多い。	作業高さが低すぎ、タインと地面が接触している。	作業高さを上げる。
	圃場が湿っている。	圃場が乾くまで待つ。
スタビライザロッドが頻繁に折れる。	２本のタインベルトの位相がずれている。	２本のタインベルトの位相を正しく合わせる。
	タインベルトの張り過ぎ。	タインベルト中央下部でのたわみを 35～40mm 程度取る。
振動が大きい。	２本のタインベルトの位相がずれている。	２本のタインベルトの位相を正しく合わせる。
	タインベルトの遊びが大きい。	正規のたわみに調整する。
	スタビライザロッドが折れている。	スタビライザロッドを交換する。
作業負荷が大きい。	草の量が多い。	作業高さを浅く数回に分ける。
	タイン或いはベルトカバー内の草詰まり。	エンジン停止後、絡み付いた草を取り除く。

※わからない場合は、お買い上げいただきました販売店にご相談下さい。